

福岡Session2019  
**VISUAL SHOCK**

---

**実績報告書**

開催日:令和1年10月12日(土)

福岡県障がい者芸術文化活動支援センターSCORE

## 実施概要・実施実績

### 実施概要

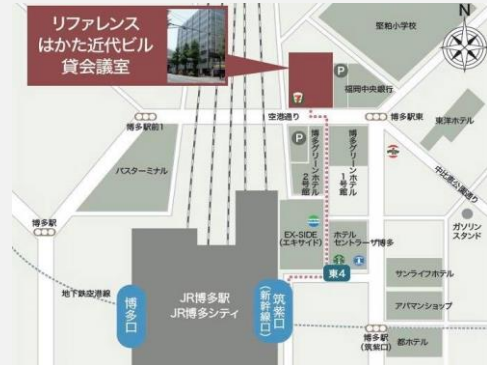
- **名 称** 福岡Session2019 VISUAL SHOCK
- **開催日程** 2019年10月12日(土)
- **開催時間** 10:30～15:30(開場10:00)
- **開催場所** はかた近代ビル1F 105会議室 (〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1丁目1-33 1F)
- **実施内容** 日本映画監督協会理事の佐藤重直さんをお招きし映像制作のおもしろさや魅力についてご講演頂きます。また、障がいや生きることをテーマに多くの映像作品に携わっておられる女優の和泉妃夏さんをお招きし障がい者と共に行きけることをベースに演じることや映像制作の魅力を参加型ワークショップ形式で学びます。表現活動の可能性を探りつつ、本セミナーを通して、障がいとは？ アートとは？ 共に生きる社会作りとは？ 考えるきっかけ作りとして開催します。
- **主 催** 福岡県障がい者芸術文化活動支援センターSCORE
- **共 催** NPO法人らいふステージ
- **後 援** 福岡県、福岡市
- **その他** beyond2020認証事業、ふくおか県民文化祭協賛事業

### 実施実績(結果)

<b>総来場者数</b>	16名
<b>■コーナー別 来場者数</b>	
Session1 佐藤重直 後援会	16名
Session2 和泉妃夏 ワークショップ	16名
Session3 質疑応答・意見交換	16名

## 会場概要

### 会場(全体)



■**会場** はかた近代ビル1F 105会議室 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目1-33 1F

■**アクセス 車** 福岡都市高速 半道橋出口から10分(専用駐車場なし。周辺の駐車場を活用)

**電車** JR博多駅より福岡市営地下鉄に乗り換え地下鉄博多駅、筑紫改札口を出て、東4出口を上  
がって3分

**徒歩** JR博多駅 筑紫口より3分

■**機材貸し出し** スクリーン、プロジェクター、マイク等は有料貸し出しあり。

■**注意事項** 会場内のレイアウトの変更は無料。現状戻しは無しでOK。

### イベント全体スケジュール

日付 時間	【会場】はかた近代ビル1F 105会議室
9:00	スタッフ集合 会場準備
10:00	開場
10:30	【Session1】佐藤重直氏 後援会
12:00	休憩
13:30	【Session2】和泉妃夏氏 ワークショップ
15:00	休憩
15:00	【Session3】質疑応答・意見交換
15:30	終演
17:00	完全撤収

## チラシ・パンフレット

福岡県障がい者芸術文化活動支援センター SCORE presents

**福岡Session2019 VISUAL SHOCK**

映像制作を障がい者の芸術文化活動に取り込むために

定員先着 35名

2019. 10. 12

はかた近代ビル 1F 105会議室

Session1 10:30 - 12:00

Session2 13:30 - 15:00

質疑応答 15:00 - 15:30

対象者  
障がいのある方々  
障がいのある方々の支援者  
芸術に興味のある方  
アート関係者  
映像関係者  
学生  
教員

後援  
福岡県  
福岡市

共催  
ふくおか県民文化祭  
主催  
SCORE  
共催  
SCORE

## 福岡Session2019 VISUAL SHOCK ～映像制作を障がい者の芸術文化活動に取り込むために～

**目的**

近年、障がいのある人たちの絵画や彫刻などのアート活動、音楽やダンスなどの舞台芸術活動への関心が高まっています。しかし、スマートフォン等で誰もが簡単に動画の撮影が行える時代になっているにも関わらず、芸術文化活動として映像の制作を行う人はまだまだ少数です。

そこで、実際に映像制作に関わっている佐藤重直さんと、障がいや年金のことやゲームに多くの映像作品に関わっている和泉妃夏さんをお招きし、障がい者支援活動としての映像制作の可能性を、参加者の方々と一緒に考えていきます。カメラの前で笑顔をまじえ、得意なことに挑戦していただき、表現活動の楽しさを味わって、映像制作を通して、障がいとは？アートとは？共に生きる社会作りとは？考えるきっかけ作りとして目撃いたします。

**タイムスケジュール**

Session1 10:30 - 12:00  
講師 佐藤重直  
日本映画監督協会理事の佐藤重直さんをお招きし映像制作の前日さや機材の使い方についてお話いただきます。

休憩 12:00 - 13:30

Session2 13:30 - 15:00  
講師 和泉妃夏氏  
障害や年金のことをゲームに多くの映像作品に関わっている和泉妃夏さんをお招きし障害者と共に生きることをベースに楽しむこと映像制作の魅力を参加者がワークショップ形式で学びます。

質疑応答 15:00 - 15:30

**講師の紹介**

**佐藤 重直**  
(映画監督、日本映画監督協会理事)

早稲田大学第一文学部映画文化学系に在籍し、カメラマンとして入社し、特撮映画、長編など200以上の映画監督や、数々の映画祭の審査員に人選した。映画監督の経験、映画祭での審査員としての経験、多くの作品の制作に携わり、その中で多くの撮影現場の現場から、心を奪われ思いやる大切さを学び、現在それらの経験を活かして活動中である。

主な作品  
おぼろげな夢、空の物語  
製作総指揮 青柳信子氏、監督 佐藤重直氏、脚本 佐藤重直氏、演出 佐藤重直氏、出演 佐藤重直氏、山崎裕太氏、山崎裕太氏、山崎裕太氏、山崎裕太氏

**和泉 妃夏**  
(女優)

劇団四季に所属し、映画、テレビ、舞台の他、CM、イベント、インターネットなど多岐にわたって活躍中。入社当初はモデルとして活動し、その後、女優としての活動を開始。2003年4月から2005年10月まで、日本テレビ系列の連続ドラマ『おぼろげな夢』に出演し、その中で多くの撮影現場の現場から、心を奪われ思いやる大切さを学び、現在それらの経験を活かして活動中である。

主な作品  
おぼろげな夢、空の物語  
製作総指揮 青柳信子氏、監督 佐藤重直氏、脚本 佐藤重直氏、演出 佐藤重直氏、出演 佐藤重直氏、山崎裕太氏、山崎裕太氏、山崎裕太氏、山崎裕太氏

**お申し込み**

下記①～④を記載のうえ、電話・メール・FAXのいずれかよりお申し込みください  
Googleフォーム(右のQRコード)からの応募も可能です  
お申し込みは、会場にお申し込みの受付となります。お申し込みの受付は、会場にお申し込みください。

お申し込みの受付先

お名前(フリガナ)	お名前(漢字)
お電話番号	お住所(〒、市区町村まで)お申し込みの住所を必ずお書きください。 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

お問い合わせ TEL 0942 72 0667 FAX 0942 41 2155 Mail: score@lifstage.jp Web: http://score-01.jp

## 記録・写真



## 来場者アンケート集計及び感想

回答数： 5 名

### I. 今回のような舞台芸術を通したワークショップは支援のどの場面で使えると思いますか？(複数回答)

- |                          |     |
|--------------------------|-----|
| 1. コミュニケーションの場面          | 4 名 |
| 2. 食事・排せつ・入浴等の直接支援の場面    | 1 名 |
| 3. 障がい者福祉啓発イベント等の場面      | 2 名 |
| 4. 就労に関する支援の場面           | 2 名 |
| 5. 余暇活動の支援の場面            | 3 名 |
| 6. 事業所や学校等での職員教育・人材育成の場面 | 1 名 |
| 7. その他                   | 0 名 |

その理由は？

【1】なかなか夢や希望を持つ事が難しい精神障がい者に良い刺激になるのではないのでしょうか

【1】自分の事、他人の事を考える時間を作れそう。

【1・2・3・4・5・6】障害を持っている人達の自信と希望へと繋がると思います。

### II. 今回のような舞台芸術を通した支援ワークショップを誰に紹介・体験してもらいたいと思いましたか？(複数回答)

- |                |             |
|----------------|-------------|
| 1. 職場の同僚       | 2 名         |
| 2. 職場の上司       | 2 名         |
| 3. 家族          | 3 名         |
| 4. 支援活動者       | 2 名         |
| 5. 支援活動をしていない人 | 2 名         |
| 6. 小学生         | 3 名         |
| 7. 中学生         | 3 名         |
| 8. 高校生         | 2 名         |
| 9. 大学生         | 1 名         |
| 10. 専門学生       | 1 名         |
| 11. その他        | 1 名 誰でも(1名) |

その理由は？

【6・7】 教育現場で起こっているような問題を演劇を通して疑似体験することで人への思いやりを持てるようになればと思います。

【3・4・7・8】 当事者及びこれからの少年たちへの啓もう

【1～10すべてチェック】 音楽、映像、絵、スポーツなど感覚的に捉えられるものは頭で勉強するより、人の心に深く響くもので感情が動き人の心に触れられると思うからです。

### III. 今後、今回のような舞台芸術ワークショップが開催されるとしたら、どのような内容を希望しますか？(複数回答可)

#### 開催時期

- |           |              |
|-----------|--------------|
| 1. 1～3月   | 0 名          |
| 2. 4～6月   | 0 名          |
| 3. 7～9月   | 0 名          |
| 4. 10～12月 | 0 名          |
| その他       | いつでも良いです(2名) |

## 来場者アンケート集計及び感想

### 開催場所

1. 福岡市内	3名
2. 福岡市外	2名
3. 公民館	1名
4. 劇場	1名
5. 学校	2名
6. 障害福祉事業所	1名
7. その他	0名

その理由は？

- 【1】 アクセスの良い所
- 【2】 いろんな場所でやってほしい
- 【5】 子供向けに将来に向けての職業や「夢」や「希望」「好き」を仕事にした人のお話など子供達に良いと思いました。

### 研修回数

1. 1回	2名
2. 2回	1名
3. 3回	0名
4. 4回	0名
5. 4回以上	0名
6. その他	0名

### 研修頻度

1. 月1回	2名
2. 月2～3回	0名
3. 毎週1回	0名
4. その他	0名

### 参加対象者は下記のどちらが良いです？

1. 支援者のみ	0名
2. 当事者のみ	0名
3. 家族のみ	0名
4. 支援者と当事者	1名
5. 支援者と家族	1名
6. 当事者と家族	1名
7. 支援者と当事者と家族	1名
8. その他	1名

広く一般に告知(1名)

その理由は？

- 【7】当事者だけの問題ではないので、どちらか片方だけというのはないと思います。

### IV. セミナーに参加されての感想をご自由にお書き下さい。

- ・ 色々なイベントに参加してきましたが今日のイベントが1番感銘を受けました。施設には様々な依存を抱えた仲間がいました。今日和泉さんもおっしゃってたように、信じる事を少し忘れて臆病になって色んなものに逃げてしまっただけだと思っています。今の私の周りにはキラキラした人がたくさん居てそういう人達が増えれば増えるだけ自分の世界が広がって行ってます。
- ・ 期待していた内容よりも格段の良い内容でした。
- ・ もう少し具体的に障がい者の方の参加方法が知りたかった。

### V. 今後、今回のようなセミナーを開催するとしたら希望する内容やテーマ等がございますか？

- ・ 同じ講師で再度開催して欲しいです。
- ・ 今日のセミナー大満足でした。今日出会えたのできつとまた出逢えると思っています。今日はありがとうございました。とても良い物が頂けました。
- ・ 現場で使える何かを入れて欲しい。



## テレビ放送実績

**放送日** 令和1年11月4日(月)      **放送時間** PM10:54 ~PM11:00  
**放送局** TVQ九州放送      **番組名** 飛び出せ！サークル”ふくおか研”  
**番組詳細** 福岡県の魅力を楽しく研究するサークル”ふくおか研”。大学生リポーターが県内各地に飛び出し、県の魅力や取り組みを学びながらリポートする番組です。



## まとめ

佐藤重直氏と和泉妃夏氏の活動や考えに共感した方が多く、障がい者の芸術文化活動の普及イベントとして成果はあったと思われる。参加者は16名。小規模のセミナーだったため、運営の面では参加者一人一人に声を掛けることができ、それぞれの困りごとや相談事を聞く機会となっている。アンケートにあるように「広く一般に告知」した方が良いという回答もあったため、会場の大小に関わらず、ネットワークを活用して広く広報及び告知を行う必要性を感じた。

今回は前半が映像制作の楽しさを伝える講演会、後半が実際に演じる事の面白さを体感するないようだったが、障がいのある方たちにどういったアプローチで映像制作を行うか、その具体的な方法(スマホを使った撮影方法、プライバシーへの配慮等)を学ぶ内容を検討するのも必要かと思った。

今年度のセミナー、ワークショップは残り1回あるため、引き続き、どのようにすれば、その人に関心が持てるか？どのように工夫すれば、その人と繋がれるか？ 考え、工夫し、実行して検証する事の面白さや大切さを楽しみながら学べる事を主軸としたワークショップを心掛けつつ、それらを障がいのある方達と一緒に楽しめる支援者を育成していきたい。

